

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設の研究用）

西暦 2018 年 1 月 17 日作成

<p>研究課題名</p>	<p>入院がん患者の苦痛スクリーニングの有効性の評価</p>
<p>研究の対象</p>	<p>当院に入院しているがん患者のうち苦痛スクリーニングの設定されたカットオフ値陽性群となったがん患者</p>
<p>研究目的 ・方法</p>	<p>本研究の目的は、当院で入院がん患者に対して導入した苦痛症状のスクリーニングの有効性を明らかにすることである。</p> <p>2012 年に発令された厚生労働省健康局長通知「がん診療連携拠点病院等の整備に関する指針」の指定要件に「がん性疼痛をはじめとする様々な苦痛のスクリーニングを診断時から行うなど、がん診療に緩和ケアを組み入れた診療体制の整備」が明記された。これを受けて①厚生労働科学研究費補助金第 3 次がん総合戦略研究事業「緩和ケア普及のための地域プロジェクト」で開発された「生活のしやすさに関する質問票」を改変し苦痛のスクリーニングを開始した。1 次スクリーニングは主治医、看護師が行い、2 次スクリーニングは内容に応じてがん看護領域の看護師、緩和ケアチーム、がん相談支援センター等が連携して行うようにしている。質問票の構成は「心配なこと」「相談したい事項」「身体症状」「つらさと支障の寒暖計」「専門スタッフへの相談希望」の 5 項目からなる。質問票をもとに部署看護師がスクリーニングシートを入力し、カットオフ値を超えた患者の電子カルテをがん看護領域の専門・認定看護師が確認し、主治医、看護師に苦痛緩和に対する推奨案を電子カルテでフィードバックしている。苦痛スクリーニングの導入により、症状緩和の対応が適切になされていたかを明らかにすることである。</p>
<p>研究期間</p>	<p>西暦 2015 年 10 月 13 日 ～ 西暦 2020 年 3 月 31 日</p>
<p>研究に用いる 試料・情報の種類</p>	<p>年齢、性別、原疾患、病期、入院目的、治療内容、オピオイド使用量、副作用対策患者用 問診票「生活のしやすさに関する質問票」</p> <p>本研究で用いられた上記情報は、電子媒体で保管する場合は、パスワードを設定した電子ファイルで横浜市立大学附属病院 看護部のインターネットに接続できないパソコンで保存します。紙媒体で保管する場合は、施錠のできる保管庫等で保管します。このパソコンや紙媒体が保管されている部屋は、入室が管理されており第三者が立ち入ることはできません。</p> <p>また、本研究に関する文書および記録（倫理委員会の記録、同意文書、症例報告書など）は、少なくとも本研究の終了日から 5 年後又は本研究の結果の最終の公表について報告した日から 3 年後のいずれかの遅い日までの期間、上記方法で厳重に管理します。</p> <p>また、保存期間終了後に廃棄する際は、パソコン上で保存している情報については</p>

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設の研究用）

保存しているパソコン端末等から完全な削除を行い、紙で保管している情報はシュレッダーにて廃棄します。

本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。

問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9

横浜市立大学附属病院 看護部 （研究責任者）畑 千秋

電話番号：045-787-2800（代表）